



たかつ区P協
役員会&運営委員会だより【第7号】

くっぴいにゆうす

令和6年3月発行 高津区PTA協議会 会長 辻大和クリスチャン/書記・広報担当役員

会長あいさつ

Greetings everyone! 皆さんこんにちは! 3月になりましたが、まだまだ寒い日が続いていますね。お身体に気をつけてお過ごしください。中3、小6の皆さんは卒業おめでとうございます! 輝かしい未来を歩んでいってください。そして、保護者の方々には、日頃よりPTA活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

高津区P協 広報紙「たかつ」2024 春号 (リンク) 3月上旬に発行!

今回は、様々なイベントや「かわさきTEKTEK」について紹介しています。区P広報委員の皆さんが作成してくださいました。是非、ご覧ください。🐾
因みに皆さんは、「かわさきTEKTEK」(リンク)をご存じですか?

「T 楽しく E 笑顔で K 健康に T たまった E 笑顔は K 子どもたちに」

小学生の夢を叶えるアプリです。今回の「たかつ」には、高津区内の小中学校のコメントが書かれた「TEKTEK記事」が掲載されています。

子供たちの「ほしいもの」を急いで確認してくださいね!! 📺 Check!

★「くっぴいにゆうす」は **単P活動を盛り上げる情報共有ツール** です

今年度の「くっぴいにゆうす」は、皆さんに少しでも親しんで読んでいただきたいとの思いから、できるだけ会員の方のコメントや学校活動について掲載するようにしています。

そして、より一層、皆さんのための「くっぴいにゆうす」にできるよう、次号からは、「私たちの学校のここが素晴らしい🌟」をコンセプトに、子供たちの頑張りや素敵な活動を紹介したり、PTAや保護者のボランティア活動において「これは自慢できる!」といったものを掲載していきます。

この「くっぴいにゆうす」を通じて、是非自校の取組みを紹介してください。★
たくさん「🌟キラキラ🌟」の共有をお待ちしています!

会長
からの
挑戦
状

今月のフレーズ: “under the weather”

先月のフレーズ: “a piece of cake”
と答え 楽勝、たやすいこと、簡単なこと

能登半島地震被災地への支援募金活動 下作延小児童の優しさに触れて

令和6年元日に発生した能登半島地震。亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々の生活が一日でも早く回復し穏やかなものとなりますことを心よりお祈りいたします。

楽しいはずのお正月が一変し、悲しみにくれ、心に大きな傷を負った多くの方がいます。

そんな様子をニュースで目の当たりにして、「今、自分たちができることは何か?」と自分自身に問いかけ、行動に移した小学生が高津区にいました。下作延小学校の4人の6年生です。校長先生に募金活動をしたいと相談し、先生の指導・協力のもと、下小の隣の津田山駅での募金活動が実現しました。



約一週間、毎朝4人が津田山駅前に立ち、直接支援の必要性を地域に訴えました。最終日には学校内の児童にも募金をしてもらい、合計14万5千円を集めることができました。また4人は、大谷グローブをはめてキャッチボールをしながらリレー形式で、募金への感謝や被災地への応援コメント寄せたビデオメッセージを制作。先生に撮影してもらったこのビデオは、集めた義援金を託したマックスバリュ津田山店で放映されています。

「タウンニュース」にも掲載 [下作延小学校ホームページより \(リンク\)](#)
[被災地に届け「小さな善意」 下作延小児童が自主募金 川崎市高津区 \(リンク\)](#)

募金活動をした4人のコメント

自分達が活動して少しでも多くの方が助かる。でも、大金が集まったのは募金をしてくれる思いが集まったからです。これからも良い活動をして、少しでも貢献したいです。(泉さん)

自分が「募金活動したい」と言って3人にきいたところ、みんなが「いいよ。やろう。」と言ってくれた時、とてもうれしかったです。結果的に石川の人のおかげになって、本当にうれしいです。(関田さん)

自分は東日本大震災を経験していないから、こんなに大きな地震や津波は初めてでした。だからこの行動をして、石川県の人が幸せになってくれればいいなと思います。(今村さん)

地震のニュースを聞いて、何か力になりたいと思った時に、友達に「募金活動をやろう!」と誘われて協力しました。その結果、たくさん募金でき、石川県の皆様の力に少しでもなれてうれしいです。早く元の生活に戻れることを心から願っています。(西山さん)

寒い中いつもより少し早起きをして、募金を呼び掛けることは、子供たちにとって、とても勇気がいることだったと思います。今回のこの活動は、「子供たちの優しさや勇気」と「先生方や地域の方々の見守りと応援」が実を結んだ素晴らしいものでした。

心理的安全性が保たれてる学校環境と、「人を想い、誰も取り残さない」という、5年生から取り組んできた「SDGs活動」が活きているなぁと思いました。

この波紋が広がることを校長先生も願っていらっしゃいましたが、我が娘もお小遣いから500円を寄付していました。下級生にもその精神はしっかり受け継がれているようです。

次号では、そんな下作延小学校の🌟キラキラ🌟をご紹介します。

お楽しみに!!

(区P役員 柳楽)